

『放射線被曝の歴史』再考 —ポスト 3・11 における意義を探る—

日時 2012 年 2 月 6 日 (月)
15:00 ~ 17:00 (参加自由)

会場 神戸大学大学院国際文化科学研究科
大会議室 (E 棟 4 階 401)

プログラム

第 1 部 中川保雄『放射線被曝の歴史』増補再刊
(明石書店、2011 年 10 月) の紹介

第 2 部 フクシマと放射線被曝
稲岡 宏蔵 (科学技術問題研究会)
中川 慶子 (園田学園女子大学名誉教授)

第 3 部 本書の意義について—最近の科学史研究の成果から
塚原 東吾 (神戸大学大学院国際文化科学研究科教授)

概要

この度『放射線被曝の歴史』の増補版が再刊されました。著者の中川保雄氏は神戸大学教養部元教授で、アメリカの原発開発の現地調査を詳細になされ、放射能の健康被害について豊富なデータに基づいてまとめられました。志半ばで病に倒られました。今日的意義のある今回の増補版の刊行に助力された稲岡宏蔵さんと中川慶子さんをお招きし、「フクシマと放射線被曝」についてお話していただくとともに、最近の研究成果を交えて本書の現代的意義について考えていきます。

主催：神戸大学大学院国際文化科学研究科
異文化研究交流センター (IReC)
〒657-8501 神戸市灘区鶴甲 1-2-1
TEL: 078-803-7650
E-Mail: irec@ccs-srv.cla.kobe-u.ac.jp
URL: <http://web.cla.kobe-u.ac.jp/group/IReC>

お問い合わせ (神戸大学大学院国際文化科学研究科)
三浦伸夫 (教授) E-Mail: miuranob@kobe-u.ac.jp



会場への交通

阪神「御影」、阪急「六甲」、JR「六甲道」下車。
市バス 16 系統「六甲ケーブル下」行に乗車。
「神大国際文化学部前」下車。徒歩 3 分。

※阪急「六甲」より徒歩で 20 分ほどですが、急な坂道ですので、上記バスのご利用をお薦め致します。